

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 28 日

青森県知事 殿

提出者

住 所 弘前市大字西茂森二丁目18-5

氏 名 株式会社 堀 江 組

代表取締役 堀 江 敏 志

電話番号 0172-35-2711

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 堀 江 組
事業場の所在地	弘前市大字西茂森二丁目18-5
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	一般土木建築工事業（0911）
② 事業の規模	年間元請完成工事高 1,349,854千円（令和5年度）
③ 従業員数	18名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場にて発生→処理委託先

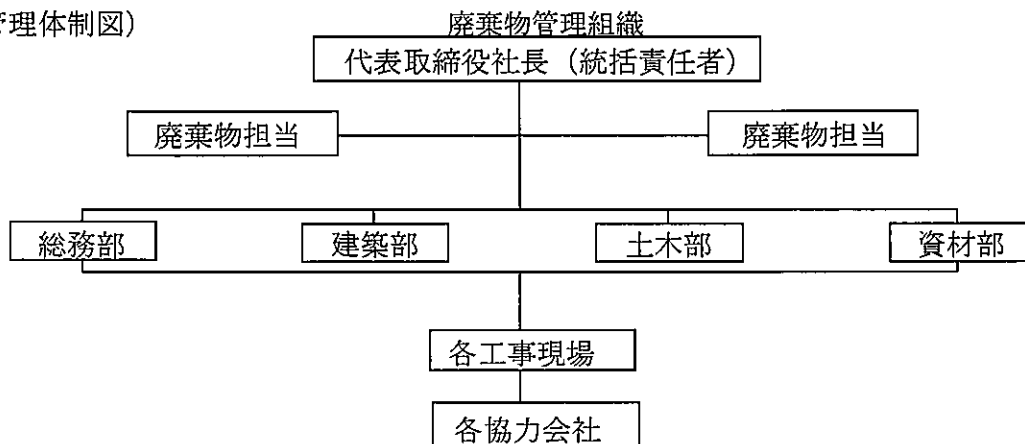
（日本工業規格A列4番）



(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排 出 量	別紙の通り	t
	（これまでに実施した取組）		
	資材、碎石のロスを防ぎ、無駄のない活用をして発生量を抑制する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排 出 量	別紙の通り	t
	（今後実施する予定の取組）		
	資材、碎石のロスを防ぎ、無駄のない活用をして発生量を抑制する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物の分別収集を徹底する。工事現場等で排出された混合物等も分別可能な状態まで分別する。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物の分別収集を徹底する。工事現場等で排出された混合物等も分別可能な状態まで分別する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	—t	t
	（これまでに実施した取組） 現場等で不用になった材料は廃棄物とせず、できるだけ倉庫等に 保管、整備して利用可能な現場等に利用する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	—t	t
	（今後実施する予定の取組） 現場等で不用になった材料は廃棄物とせず、できるだけ倉庫等に 保管、整備して利用可能な現場等に利用する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	—t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	—t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	—t	t
	（今後実施する予定の取組）		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	—t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	—t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全 処 理 委 託 量	別紙の通り	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り	t
	(これまでに実施した取組)		
	処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約をする。		

(第 5 面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全 処 理 委 託 量	別紙の通り	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙の通り	t
	(今後実施する予定の取組)		
	処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約をする。		
※事務処理欄			

(第 6 面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別 添

(単位 : t)

(単位 : t)

	前年度 (5 年度) 実績						6 年度目標					
	現 状			計 画			計 画			計 画		
	①前年度の 産業廃棄物 発生量 (5年度)	②全処理 委託量	③優良認定 処理業者への 処理委託量	④再利用業者 への処理委託 量	⑤認定熱回収 業者への 処理委託量	⑥認定熱回収 業者以外の熱 回収を行う業 者への処理委 託量	①産業廃棄物 発生量 (6年度)	②全処理 委託量 (6年度)	③優良認定 処理業者への 処理委託量	④再利用業者 への処理委託 量	⑤認定熱回収 業者への 処理委託量	⑥認定熱回収 業者以外の熱 回収を行う業 者への処理委 託量
が れ き 類	1, 208. 040	1, 208. 040	0. 000	1, 208. 040	0. 000	0. 000	1, 147. 638	1, 147. 638	0. 000	1, 147. 638	0. 000	0. 000
ガラス・陶磁器くず	41. 150	41. 150	0. 000	0. 000	0. 000	0. 000	39. 092	39. 092	0. 000	0. 000	0. 000	0. 000
廃プラスチック類	19. 735	19. 735	0. 000	0. 000	0. 000	0. 000	18. 748	18. 748	0. 000	0. 000	0. 000	0. 000
金 属 く ず	21. 485	21. 485	0. 000	21. 485	0. 000	0. 000	20. 410	20. 410	0. 000	20. 410	0. 000	0. 000
紙 く ず	6. 270	6. 270	0. 000	0. 000	0. 000	0. 000	5. 956	5. 956	0. 000	0. 000	0. 000	0. 000
木 く ず	63. 090	63. 090	0. 000	0. 000	0. 000	0. 000	59. 935	59. 935	0. 000	0. 000	0. 000	0. 000
繊維 く ず	1. 180	1. 180	0. 000	0. 000	0. 000	0. 000	1. 121	1. 121	0. 000	0. 000	0. 000	0. 000
石綿含有産業廃棄物	14. 590	14. 590	0. 000	0. 000	0. 000	0. 000	13. 860	13. 860	0. 000	0. 000	0. 000	0. 000
水銀使用製品	0. 110	0. 110	0. 000	0. 000	0. 000	0. 000	0. 104	0. 104	0. 000	0. 000	0. 000	0. 000
混合廃棄物	1. 000	1. 000	0. 000	0. 000	0. 000	0. 000	0. 950	0. 950	0. 000	0. 000	0. 000	0. 000
合 計	1, 376. 650	1, 376. 650	0. 000	1, 229. 525	0. 000	0. 000	1, 307. 814	1, 307. 814	0. 000	1, 168. 048	0. 000	0. 000